



令和4年1月7日(金)

国土交通省関東地方整備局

常総国道事務所

記者発表資料

常総国道事務所発注工事において、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「見積活用方式」、「材料単価の公表」を試行します。
併せて「施工箇所が点在する工事の積算」、「余裕期間制度（任意着手方式）」、「難工事指定」、「配置予定技術者の専任を要しない期間」を採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調・不落対策を試行しております。

今回発注する下記対象工事については、以下のとおり試行・採用します。

【対象工事 ※工事の内容については、別添の工事概要を参照して下さい。】

1. R3圏央道尾羽根川橋下部その1工事（公告日1/7）：不調・不落対策等①、②、③、④、⑤、⑥
2. R3東関道延方地区改良工事（公告日1/7）：不調・不落対策等①、⑤
3. R3東関道石神地区改良その2工事（公告日1/7）：不調・不落対策等①、⑤
4. R3東関道石神地区跨道橋下部その2工事（公告日1/7）：不調・不落対策等①、②、⑥、⑦

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「見積活用方式」

本工事の地域において、実勢価格の変化が想定されるため、入札者から見積を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

③「材料単価の公表」

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」の材料単価について公表を行います。

④「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在する工事について、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所が発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

⑤「余裕期間制度（任意着手方式）」

契約期間内であるが、工期外であるため、受注者は監理技術者等の配置が不要であり、工事に着手してはならない期間のことです。工事着手以外の工事のための準備は、受注者の裁量で行うことができるため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる制度です。

⑥「難工事指定」

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加算対象とする「難工事指定」を採用します。

⑦「配置予定技術者の専任を要しない期間」

本工事は、現場に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、競争参加資格確認申請書の配置予定主任（監理）技術者の専任を要しないものです。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、千葉県政記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局常総国道事務所 電話029-826-2040（代表）

副所長(技) 木村 佳夫 工務課長 高橋 勉

1. R3 圏央道尾羽根川橋下部その1 工事

《工事概要》

- (1) 工事場所：自) 千葉県成田市成井 至) 千葉県成田市芝
 (2) 工期：工事の始期から365日間（工事着手期限 令和4年4月1日）
 (3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
 (4) 工事種別：一般土木工事C+B
 (5) 工事内容（概要）：

道路改良	1式
道路土工	1式
掘削工	約3,900m ³
路体盛土工	約5,300m ³
路床盛土工	約2,500m ³
擁壁工	1式
作業土工	1式
安定処理工	1式
安定処理	約180m ²
ジオテキスタイル補強土壁工	1式
ジオテキスタイル壁面材組立・設置	約100m ²
ジオテキスタイル敷設	約540m ²
橋梁下部	1式
橋台工	1式
作業土工	1式
既製杭工	1式
既製コンクリート杭【A1】 SC+PHC杭 φ1000 L=23.5m	8本
既製コンクリート杭【A2】 SC+PHC杭 φ1000 L=19.5m	8本
橋台躯体工【A1】	1式
コンクリート 躯体σ _c k=30N/mm ² 底版σ _c k=24N/mm ²	約150m ³
鉄筋 SD345 D13~D32	約10t
橋台躯体工【A2】	1式
逆T式橋台	約270m ³
鉄筋 SD345 D13~D32	約17t
仮設工	1式
仮橋・仮棧橋工	1式
土留・仮締切工	1式
作業ヤード整備工	1式

(6) 不調・不落対策等の試行・採用

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「見積活用方式」

- 見積の提出を求める工種
 - ・直接工事費のうち既製杭工

○見積の提出を求める理由

本工事の地域において、実勢価格の変化が想定され、施工にあたって標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

③「材料単価の公表」

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」として、既製杭の材料単価について公表を行います。

④「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在する工事について、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所が発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

⑤「余裕期間制度（任意着手方式）」

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建資材、労働力確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和4年4月1日までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

⑥「難工事指定」

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《スケジュール》

- 入札公告、入札説明書の交付 : 令和4年1月7日（金）
- 技術資料等の提出期限 : 令和4年1月24日（月）
- 入札書、工事費内訳書の提出期限 : 令和4年2月22日（火）
- 開札日 : 令和4年2月28日（月）

2. R3 東関道延方地区改良工事

《工事概要》

いばらきけん いたこし のぶかたちさき

- (1) 工事場所：茨城県潮来市延方地先
- (2) 工期：工事の始期から253日間（工事着手期限 令和4年4月1日）
- (3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (4) 工事種別：一般土木工事C
- (5) 工事内容（概要）：
- | | |
|---------------|-----------------------|
| 道路改良 | 1式 |
| 道路土工 | 1式 |
| 路体（築堤）盛土（ICT） | 約33,900m ³ |
| 法面整形（盛土部） | 約3,580m ² |
| 擁壁工 | 1式 |
| 重力式擁壁 | 35m ³ |
| 排水構造物工 | 1式 |
| 水路工 | 1式 |
| 防護柵工 | 1式 |
| 舗装工 | 167m ² |
| 構造物撤去工 | 1式 |
| 仮設工 | 1式 |
| 工事用道路工 | 1式 |

- (6) 不調・不落対策等の試行・採用

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

⑤「余裕期間制度（任意着手方式）」

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建資材、労働力確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和4年4月1日までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

- 入札公告、入札説明書の交付：令和4年 1月 7日（金）
- 技術資料等の提出期限：令和4年 1月19日（水）
- 入札書、工事費内訳書の提出期限：令和4年 2月15日（火）
- 開札日：令和4年 2月18日（金）

3. R3 東関道石神地区改良その2 工事

《工事概要》

(1) 工事場所：茨城県行方市石神地先 いばらきけん なめがたし いしがみちさき

(2) 工 期：工事の始期から306日間（工事着手期限 令和4年4月1日）

(3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）

(4) 工事種別：一般土木工事C

(5) 工事内容（概要）：

道路改良	1式
道路土工	1式
掘削（ICT）	約3,200m ³
路体（築堤）盛土（ICT）	約38,000m ³
法面整形（盛土部）（ICT）	約3,970m ²
地盤改良工	1式
サトマツ工	1式
サトマツ	約1,770m ³
固結工	1式
中層混合処理 本線部 改良深度5m	約820m ³
中層混合処理 No.128+78.9 改良深度5m	約1,290m ³
舗装工	1式
加パート工	1式
パイパート工	1式
排水構造物工	1式
伐木工	1式

(6) 不調・不落対策等の試行・採用

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としてしています。

⑤「余裕期間制度（任意着手方式）」

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建資材、労働力確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和4年4月1日までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

○入札公告、入札説明書の交付	：	令和4年 1月 7日（金）
○技術資料等の提出期限	：	令和4年 1月19日（水）
○入札書、工事費内訳書の提出期限	：	令和4年 2月15日（火）
○開札日	：	令和4年 2月18日（金）

4. R3東関道石神地区跨道橋下部その2工事

《工事概要》

いばらきけん なめがたし いしがみ ちさき

- (1) 工事場所：茨城県行方市石神地先
- (2) 工 期：契約の翌日から令和5年3月31日まで
- (3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (4) 工事種別：一般土木工事B
- (5) 工事内容（概要）：

橋梁下部		1式
橋台工		4基
作業土工		1式
床堀り（水戸神栖線）		4, 500m ³
床堀り（市道1-1号線）		70m ³
埋戻し		4, 200m ³
既製杭工		1式
鋼管杭 A1（市道1-1号線）φ1200 杭長12.5m		4本
鋼管杭 A2（市道1-1号線）φ1200 杭長13.5m		6本
鋼管杭 A1（水戸神栖線）φ800 杭長13.5m		24本
鋼管杭 A2（水戸神栖線）φ800 杭長12.5m		27本
橋台躯体工		1式
コンクリート		約1, 650m ³
鉄筋 A1（市道1-1号線）SD345 D13~32		約11.6t
鉄筋 A2（市道1-1号線）SD345 D13~35		約18.8t
鉄筋 A1（水戸神栖線）SD345 D13~35		約26.2t
鉄筋 A2（水戸神栖線）SD345 D13~35		約29.3t
仮設工		1式
工事用道路工		1式
切回し道路工		1式
作業ヤード整備工		1式
土留・仮締切工		1式

(6) 不調・不落対策等の試行・採用

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「見積活用方式」

- 見積の提出を求める工種
 - ・直接工事費のうち既製杭工

○見積の提出を求める理由

本工事の地域において、実勢価格の変化が想定され、施工にあたって標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

⑥「難工事指定」

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

⑦「配置予定技術者の専任を要しない期間」

本工事は、現場に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、競争参加資格確認申請書の配置予定主任（監理）技術者の専任を要しないものです。

専任を要しない期間は、令和4年3月31日（木）までを予定しています。

《スケジュール》

- 入札公告、入札説明書の交付 : 令和1年1月 7日（金）
- 技術資料等の提出期限 : 令和4年1月24日（月）
- 入札書、工事費内訳書の提出期限 : 令和4年2月22日（火）
- 開札日 : 令和4年2月28日（月）

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示
(工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定

発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上